

令和6年度 第2回松本市博物館協議会 議事録（案）

1 日時 令和7年2月13日(月) 午後2時～3時20分

2 会場 松本市立博物館 会議室1

3 出席者

(1) 委員

川手委員 川船委員 笹本委員 林委員 降旗委員 村井委員 百瀬委員 米山委員

(2) 博物館

加藤館長 山村課長補佐 柳本係長 宮下主事 保坂職員

(3) 傍聴者

なし

4 会議の概要

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 博物館長あいさつ

年度末のお忙しい中、本日はお集まりいただきありがとうございます。当館では2月1日から春を待つ涅槃図展を開催しております。先立ってオープニングセレモニーにおでかけいただきありがとうございました。本日もご都合がよろしければぜひご観覧になってください。

さて、今年2回目の博物館協議会となります。大切な報告、来年度の体制及び事業報告等予定しております。質問はないので、報告のみの議事となります。ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思います。

(4) 正副会長選出

会長に笹本委員、副会長に米山委員を選出

(5) 正副会長あいさつ

(6) 議事

ア 博物館分館の観覧料及び休館日の見直しについて

(加藤館長)

博物館協議会にて2度ほど質問させていただいている内容です。令和6年9月の松本市議会での条例改正案を経て議決を得たものです。資料の中に旧新とございますが、赤字の部分が条例改正後の変更を整理したものです。

松本市立博物館、旧開智学校校舎、松本民芸館、時計博物館が有料を継続し、残りの館が無料となります。また、区分を一般、小・中学生としました。比較的新しい施設はこういった括りが多いようです。観覧料の変更について旧開智学校校舎は電子チケットは600円、

紙チケットは700円と差をつけ電子チケットの誘導を図ります。松本城も同様の措置が図られます。現地の窓口負担や金銭授受の負担を減らす目的があります。

休館日の変更については新博物館に合わせて火曜日休館に統一していきます。ただし旧制高等学校記念館はあがたの森と一体管理のため月曜休館を継続します。

ご質問を答申した過程で協議した内容です。

イ 市長部局への移管について

(加藤館長)

1月14日市議会総務委員会へ市の行政管理部門から説明したものです。国際文化観光都市の実現に向け、教育委員会の文化財課、博物館を市長部局・文化観光部へ移管し、引き続き文化資産を大切にしながら、観光施策との連携を強化するものです。

(川手委員)

観光との連携強化とはどういうことでしょうか。

(加藤館長)

博物館、松本城、美術館、旧開智学校の4館共通の電子チケットを予定しています。1館100円ずつ割引されます。

今もやっていますが、松本城プロジェクトマッピングや夜桜会と夜間開館と展示ガイド開催を重ねるなど観光・文化情報と連携し、博物館と美術館との連携などもスピード感を持って実行していきます。普段でも教育委員会内よりも文化観光部の部署と話をすることが多いです。

(百瀬委員)

観光に重きを置き、来館を促進していく中で気になるのは交流学習室や市民交流スペースでの自習だと思います。観光客が休憩できる雰囲気ではないため、この状況では観光客が寄り付かなくなってしまいます。何か対策が必要だと思います。

(林委員)

部署の移管については新聞報道で決定したものと思っていた。質問は必要ないが、新聞に出る前に報告してほしいです。

(加藤館長)

行政組織のことになりますが、事前に委員会で話を出してから修正があれば修正をして議会に諮ります。今回はその委員会の内容が報道されてしまいました。性質として事前に周知するものではないと思い、部局が換わる件はこの場でお伝えしました。何卒ご理解いただきたいです。

(笹本会長)

すでに長野県も長野市も博物館が市長部局に換わっているが、何が変わったかと言われると戸惑います。部局が換わったことをプラスに捉えながら、どうしたら博物館が良くなるか

知恵を出すのが皆さんの仕事です。注意深く様子を見ていただきたいと思います。

ウ 令和7年度松本市立博物館「特別展」について

(山村補佐)

令和7年度企画展「信州の工芸—作り手たちの原点」についてはクラフトフェア推進協会と連携し、作家30名が参加し全部で100点の資料を展示予定です。

特別展「あの世の裁判官・十王展」について、資料の巡回を削除してください。現在市内17か所を調査しています。

「日本刀は美しい～名刀で知る初めての刀剣～」について友の会川船会長始め友の会刀剣部会の協力を得て開催予定です。

また別冊資料「この日本の博物館は実際に時間を刻んでいる」はニューヨークタイムズに時計博物館が掲載されたもので、日本語訳と原文を合わせて資料をお配りしていますのでご確認ください。

(7) その他

ア 考古博物館について

(米山副会長)

以前、考古博物館の維持について、文化財課へ移管についての議論があったが、どうなったのか。

(加藤館長)

令和6年3月の協議会で議論しました。博物館とすると文化財課に所管換えを協議していますが、地元説明含めて時期が整わないことから令和7年度は見送りました。考古博物館は廃止ではなく博物館から文化財課へ移管を検討しています。令和6年にご意見いただいたとおり展示スペースは廃止せず、ほぼ残して管理します。専門職員が多い文化財課では展示機能に加え発掘中の弘法山古墳のインフォメーション機能を近くに置きたいという意見もあります。例えば考古センター、埋文センターなど名称変更し条例変更を検討します。引き続き2課での協議の下で文化財課所管に向けて進めています。

(川手委員)

考古博物館に行っても学芸員がいない。インフォメーションセンターにして学芸員がいないのは考え方では。

(山村補佐)

なおさら埋文センターの職員の方が、実務で発掘を行っているので学芸員よりよほどわかっていると考えています。

(加藤館長)

埋蔵文化財課の職員の方がより専門的に自分の所管のものとして活用できるようになります。

イ 奈川資料館について

(村井委員)

奈川資料館は廃止されますか？

(加藤館長)

奈川資料館の資料整理は終わり、収蔵品を本館と旧錦部小学校保管に分けました。

奈川小学校の空き教室1室を活用して、かんじき、山道具など地元に残す資料を展示しています。令和7年度に解体予定です。

ウ 開催中の特別展「春を待つ涅槃図」について

(村井委員)

今回の特別展はすごく良かったです。ただ、足元のカーペットが浮いているので危険でした。カーペット敷きにした経過、対処、費用などを教えてください。

(山村補佐)

おおうちアソシエイトプロデューサーと相談し、白い世界で涅槃図を見ていただきたく初めてカーペットを敷きました。浮いて危ないので毎週業者にメンテナンスしてもらっています。エアコンが下から出るため、どうしても浮いてしまうが、カーペットの質を上げると値段が5倍になるため、今のものを使っています。

(笹本会長)

日常的にお気づきの点を事務局へ申し出ていただいて、少しでもお客様が気持ちよく観覧できるように改善していただきたいです。

エ 講堂の音響について

(米山副会長)

講堂の音響は反響がひどくて声が聞き取りにくいため、何とかしていただきたいです。

(山村補佐)

業者に問合せて対応します。

以上で予定の議事を終了しました。ご協力に感謝します。事務局にお返しします。

本日はありがとうございました。

(8) 閉会